

INSPIRE No.39



2018年4月21日（土）
ギフトッドサポートグループミーティング
テーマ：「ギフトッド101. ギフトッドってなに？」

時間：9:30 - 12:00

費用：1,000円

対象者：保護者、教育関係者

申し込み・お問い合わせ先：

office@jagifted.org

場所：KEY STATION OFFICE会議室73

住所：東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル
9F

最寄駅：新橋駅（徒歩1分）

春は色々な新しい出会いがある時期です。そんな時、英語でこんな言葉があります。”Show your color - 自分の味を出せ”です。まったく遠慮しなくても良いです。自分を見せること。とっても大切です。そして、自分を見せることによって、つながる深さも違います。それはお互いの懐に入り込むことができるからです。まだまだ自分の色が出せない子供たちは、行った事のない場所に行ってみてください。新しい自分の発見があるかもしれません。



同じ男子とは到底思えないキミたち！

ある一人の男子ヤンキーと、一人の男子ギフトッドが交わることなんてあるのかな？

ある一人の男子ヤンキー

V S

ある一人の男子ギフトッド

キーワード	陽・外・明	陽・外・明	陽・外・明	陰・内・暗
習性	集団の中で群れをなす		集団の中で孤立する	
友達	地元中学から不変の仲間多数		趣味を通じての仲間超少数	
趣味	カラオケ・ダンス・BBQ		読書・マニアックな趣味	
潜伏場所	パチンコ・カラオケ・仲間の家		鉄道船旅路・プログラミング・アキバ	
学校の勉強	苦しいかも		苦しいかも	
異性タイプ	AKB48・EXAILE		アキバロイヤル・大和撫子・王子	

お互いに学校の勉強はあまり好きじゃないかもしれないけど、ある一人のヤンキーは学校や地域に溶け込み、友達も多く社会性もあり、結婚も早くて、子どももすぐデキて、動物的本能炸裂！ある一人のギフトッドは？全て真逆！でも、子供時代ならばどちらの子育てもキツイだろうなあ……。キツイ子育てでも、どちらの子供も逞しく育ててもらいたい！心の中で念じるしか出来ない母なのであった

- M.I.



第5回ギフトッド教育カンファレンス2018

「The Big Picture of Giftedness - ギフトッドネスの全体像を知ろう」



第5回を迎える今年のテーマは「The Big Picture of Giftedness - ギフトッドの全体像を知ろう！」です。ギフトッドネスとは何? ギフトッドと見極められる子供たちはどんな特徴? そして、ギフトッド教育の教育哲学や根幹となるものは何?カンファレンスでは日本ギフトッド協会としての定義、そして、それに基づいて、ギフトッドネス、ギフトッドと見極められる子供、ギフトッド教育に関しての理解を参加者の皆さまと深めていきたいと思えます。

近年、「ギフトッド=天才児」「IQが高いからギフトッド」「才能がないからギフトッドではないはず」「ギフトッドは飛び級するんでしょ」「ギフトッドは何でもできる」「ギフトッドは発達障がい」「IQに凸凹がないからギフトッドではないはず」など間違った情報、そして偏った情報が蔓延しています。

ギフトッドネスが意味するものは、「成功」ではなく、「ポテンシャル」です。ギフトッドと見極められる子供たちはIQや才能のみによって明らかにはできません。IQや才能などは彼らが見せるギフトッドネスの片鱗にしかすぎず、彼ら自身もまだ知らない秘めた素晴らしさを持っています。千差万別のギフトッド。一人ひとりが魅力満載です。そのポテンシャルを最大限に引き出すには、それぞれが持つギフトッドネスを理解することが必要不可欠です。

ギフトッド教育カンファレンスに参加すると

- ① ギフトッドに関して幅広い知識を得る事ができます。
- ② ギフトッド教育をしている先生方から現場のお話を聞く事ができます。
- ③ ギフトッドの子育てに関する座談会を保護者と楽しむ事ができます。
- ④ 自分と周りの魅力を再確認できます。

日時：6月9日（土）/10日（日）

場所：スクエア荏原in品川

お申し込みサイト: <http://jag2018.peatix.com>

アドバイスは届けるためにあるもの

先日まで会話のなかった私の生徒が二人いる。

今は自分が相手に対して思っている事を言い始めている。

お互いに”Work in Progress - 成長過程中”であれば、
「なんでお前に言われなければならないんだ」という気持ちがある。

お互いに、相手のダメ出しばかりで、衝突している。

お互いにできていない事を、できるようになれと相手に求めている。

アドバイスとして、相手に届いていない。相手の耳に届かない。建設的ではない。

諦めなければ、お互いに”Mutual Respect - 相互尊重”という関係になる日がくる。
しかし、それまでには多くの衝突や、関わり合いが必要となる。

お互いに顔を赤らめながら、荒い息遣いを感じながら、そして、時にお互いを睨め合いながら、お互いに気持ちをぶつけている。みんなができるわけではない。実は、すぐに諦める子もいる。「面倒くさい」「こういうのって苦手」って。

今、私が興味を持っている一つがこの二人の関係性である。

感情知性はエクセサイズしないとならない。

